

岩国市で確認されたグンバイトンボペア

櫛井 優志¹⁾

はじめに

グンバイトンボ (*Platynemis foliacea sasakii*) は、トンボ目・モノサシトンボ科に分類される一種で、オスの脚の一部が白く平たいのが特徴だ。名前の由来も、脚を相撲の行司が持つ軍配に見立てたものだ。国内初観測は東京都下の井の頭で、中国の北京・浙江省・江西省などに分布している別亜種、シナグンバイトンボの日本亜種として1949年に発表された。福島県を北限とし、関東以南の本州・四国・九州に分布する。環境省カテゴリーでは準絶滅危惧種 (NT)、山口県カテゴリーでは絶滅危惧 類 (VU) に分類される。

今回グンバイトンボを発見した岩国市平田の小川は、道路拡張のため下流から護岸工事が進んでおり、じきに観測できなくなる可能性があるため、報告する。

発見した経緯

本種は、2012年8月6日14:00頃岩国市平田の小川で、ハグロトンボを採集している際、偶然、交尾中のグンバイトンボペアを捕獲した。産卵はまだしていなかったとみられる。自宅にて、横刺し標本とした後、体長を計測したところ、40mm 39mmであった。



上：オス 下：メス

¹⁾ KUSHII, Masashi 平塚学園高等学校2年 ミュージアムパーク茨城県自然博物館ジュニア学芸員
平塚学園高等学校 (〒254-0805 神奈川県平塚市高浜台31番19号)
ミュージアムパーク茨城県自然博物館 (〒306-0622 茨城県板東市大崎700番地)

引用文献

日本のレッドデータ検索システム

川上洋一（2006）絶滅危惧の昆虫辞典

福田晴夫・山下秋厚・福田輝彦・江平憲治・二町一成・中峯浩司・塚田拓（2009）増補改訂版 昆虫の図鑑
採集と標本の作り方